

「リサイクルを考えよう」

さいたま市 二年 川ぞえ なな子（かわぞえ ななこ）

夏休みに、リサイクル・プラザJBに見学に行きました。リサイクルって何だろう、どんなところなんだろう、と、わくわくした気持ちで、見学に行きました。

わたしが、おどろいたことがあります。リサイクル・プラザの入りようりが、一人アルミかん二本ということです。入じようりというのと、わたしは、お金をはらうイメージなのです。リサイクル・プラザの入口には、入じようりよのアルミかんの回しゅうばがありました。わたしは、いえからもってきたジュースのかんを、回しゅうばに入れました。お金でしはらうしせつしか、今までりようしたことがなかったわたしは、ちよっぴりとくした気分になりました。

中に入り、さいしょにかんきよう学しゅう室へあん内されました。かんきよう学しゅう室で、ビデオを見て、おねえさんから、リサイクルのしくみについて、おしえてもらいました。二年生のわたしにも、分かるように、ゆっくりと、やさしいことばでお話してくれました。分かりやすいせつ明で、うれしかったです。

わたしが、かんきよう学しゅう室で、すごいなあとかんじたことがあります。

見学しゃ一人一人のつくえの上に、リサイクルでつくられたボールペン、クリアファイルがおかれていました。白いボールペンは、ペットボトルキャップからつくられたときき、びっくりしました。とてもきれいな白い色をしていたので、リサイクルされたものと、かんじませんでした。わたしは、いえでたペットボトルのキャップを、小学校のペットボトルのキャップの回しゅうばに入れていました。いつも、いみが分からず、いえの人にいわれて、回しゅうばに入れていましたが、リサイクルされたボールペンを見て、やっといみが分かりました。わたしが、今まで、回しゅうばに入れていたキャップが、きれいなボールペンにうまれかわっていたのです。とてもかんげきしました。学校の友だちも、ペットボトルのキャップが、なににすがたをかえているか知らないと思うので、今ど、教えてあげたいと思います。

リサイクル・プラザで学んだことで、わたしが一ばん大せつだと感じたことがあります。ごみをださないようにすること、ごみをへらすことが、一ばん大せつだと、おしえてもらいました。今まで、しんけんにかんがえたことがありませんでした。今日、リサイクル・プラザでおしえてもらったことは、とてもやくに立つ話だったので、ぜひ、今日から、じっししたいと思います。リサイクルできるものは、リサイクルへ回すこと、ごみをださない生かつを心がけること、この二つが大切だと教えてもらいました。これからもっともっと、リサイクルについて、学んでいきたいと思っています。